

くどう市長と語ろう！ 第9回ふれあいトーク



日 時 平成25年7月27日（土） 14：00～

場 所 大黒2町内会館（大黒3丁目）

《第9回ふれあいトーク 開催結果》

●参加者数 13名 (男女別) 男性11名 女性2名

【トークの内容】

1. 通学路の除雪について
2. 道路(歩道)の除草について
3. 旧JR跡地の利用について
4. 稚内のまちづくりについて
5. 水産業の発展について
6. 救急医療の充実について
7. 医師の確保について(6の関連質問)
8. 地域防災について

※参加されたみなさんより出されました上記のご意見・ご質問と、それに対する市長の発言(回答)を要約し掲載しております。内容によって、終了後に担当課において検討した結果及び付記事項等を合わせて掲載いたしました。

1. 通学路の除雪について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①大黒5丁目のエノシコマナイ川沿の歩道(40号線～労働基準監督署付近)について、民家が少なく、除雪があまりされていないが、生徒が登下校の際に通っており危険だ。回避してほしい。

◆市長の発言

(市長)

・市道なので出来るだけ安全に歩けるようにしたいし、するのが我々の役目だが、これだけ広い地域で通学時間に除雪しなければ意味がないわけだから、可能な範囲は限られると思う。除雪の手が回らないのであれば教育委員会を通じて通路を(変更するなど)指導してもらわなければならない。子どもの安全を守るにはどうすればよいか、担当課で協力して冬に向けてしっかり検討してほしいと指示した。ただ、ここだけの話でないと思う。子どもがどこからどう通ってくるかは正直わからない。そこは教育委員会にも話した。

■ 検討状況など 【担当 … 教育委員会学校教育課・建設産業部土木課】

- ・特に冬期間については通学路の安全点検を実施するなどし、関係機関と連携して、除雪や排雪など通学路の安全確保、あるいは児童生徒に対する交通安全の指導に努めているところです。

しかしながら、今回、除雪が十分ではなかった箇所がありました。引き続き、関係機関と連携し、児童生徒の通学路の安全確保に努めてまいります。

2. 道路(歩道の除草)について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①夏場に道路沿い、川沿いに草がものすごく伸びる。歩道と車道の除草は町内会で行っているが、だんだん高齢となって、誰がやるのかという話になって、これは最後まで町内会がやるのか、市で刈ってくれるのか？聞きたい。

(意見)

- ・バス通りなどの道路に植樹升があり木を植えているが、きれいにしているところと草がぼうぼうのところがある。どこに責任があるのか？町内会でやらなくてはならないのか？

◆市長の発言

(市長)

- ・道路は基本的に道路管理者がおり、市道に関して言えばかなりの距離になりすべての維持管理は難しいとの理由から恐らく市で地域の方をお願いしてきたと思う。
- ・ただし、交通安全上危ない場所については、市も道路パトロールする中で、また町内の方もわかる部分なので、お互い連絡を取りながら個別に処理してきたと思う。これからも協力して処理していく格好になると思う。地域が目に見える状況をパトロールで見逃してはいけないという話はした。
- ・かつて植樹升を作った時は、設置はこちらで、維持管理は地域でお願いしますなど、何らかの話をした上で設置したと思われるが、すっかり時間が経過してしまい現在の状況になっていると思う。もし道沿いであればそれは道だからと整理するつもりはないので問題ありそうな場所は町内から言っただかくか、市に言っただければ話は伝える。

■ 検討状況など 【担当 … 建設産業部土木課】

- ①市内道路の除草については、パトロールを重視し、歩行者の安全性の確保に努めるとともに、各町内会のご協力もいただいています。また、市民から連絡を受けた際は、現地状況を確認した上で対処しており、今後も特に、草の繁茂の時期にはパトロールを強化してまいります。

今後も草刈りについては町内会と連携を図りながら、できる範囲の中でご協力をお願いして行きたいと考えています。また、土木課としては、次年度へ向けて草刈機貸出し事業を検討してまいります。市道の植樹柵については、稚内市の管理となっており、今年度、現地状況調査を実施しました。

市民の協力で植栽されているものを除き、除草や埋戻し作業を行っております。

3. 旧 JR 跡地の利用について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①何年も前から JR 跡地（大黒地区）が公園になるという話を聞いていた。家の周辺に走って遊べる場所がなく楽しみにしていたがどうなったのか？

(意見)

- 確かにこの場所を地域でとの話から、まちづくり委員会で行事を企画したこともあったが、照明も（当時）水道もない状況で、市とも話したが公園化するのには難しかった。ただ、この場所をもっと活用していきたいという考えはあり、親水公園を作りたいという話になった。今稚内で幼児が水遊びできる場所がない。そういう公園が私たちの希望だが、（大きい額になるので）地域でお金を出して出来るものではない。あの地域を何とかしようということで（積立てをしても、大きなお金がかかるので）いろいろ市にお願いに行こうと思いつきながら悩んでいるのが実情。
- 当時は商業地として使う話もあった。
- 昨年、一昨年と雪が多く仕方ないことと思うが、跡地が雪捨て場になっている。市有地の部分がかまわないが、まちづくり委員会の場所にもずれ込んでいる。雪がなくなるのは6月半ばなので広場としては使えなくなる。
- 現在の形で管理するのは難しい状況。親水公園を作ってくれたらありがたい。子どもたちの水遊び場になれば、その管理は地域で出来ると思う。

(市長)

- 経緯としては平成16年に JR から空地を市が購入した。当時まちづくり委員会が中心となって空地の半分（緑町側の南側）を公園化したい、植栽して地域の財産にしたいという話があって議会でもいろんな議論があった。結果として半分で分けて、地域が中心で整備し、残りを商業地とすることになった。ただし、膨大な広さがあり、これを地域で（整備することが）できるのか？という話があったがいろんな経緯の中で時間がかかるが整備しようという棲み分けだった。奥の方（まちづくり委側）は一部植栽しているが現実的に進んでいない状況。市の所管課も（市有地部分を）売りたい話はあるが目途も立たない状況。9年間の宿題と思う。
- 問題は（お話のような）整備をすると相当な額のお金がかかる。本当にそれが必要かという話になる。街の中には都市計画上、この場所にはこういう公園が必要との話から配置される。本当に必要であれば手続きを踏みながら都市公園という位置づけにするが、（図面を見ると）この地域にはあっちこっちにぽつぽつとちびっこ広場や公園があり、その時々歴史的経過の中で配置されているから、ここには本当にどんなものが必要なのかはもう一度議論しなくてはならない。
- もう一回仕切り直しも含めて、地域と話をしなければならぬと思う。また皆さんの知恵を貸してほしい。

■ 検討状況など 【担当 … 政策調整部市民協働課・総務部契約管財課
・建設産業部土木課】

- この跡地については、地域で公園を造成したり、植栽など自分たちの手で整備していきたいとの要望で、無償でお貸ししているのが現状です。それから時間が経過し、地域においては植栽等の整備は行っていますが、公園化となると多額な費用もかかることなどから行っていません。
- 現在の地域の考え方や課題、今後の方向性について、まず、市と地域で協議する場を早急に設定し、話し合いを行ってまいります。
(市民協働課・契約管財課)
- JR 跡地の雪の堆積について、今後は事前に町内の皆さまへお知らせするとともに、雪の置き方や雪山を早めになくす処置など十分配慮し実施いたします。
(土木課)

4. 稚内のまちづくりについて

◆参加者からの意見等

(意見)

- ①駅前再開発でいろいろ建ったが、商店街はシャッターが下りている所が多くなっている。高齢化が進み購買意欲が落ちてくれば衰退の一途。市全体を見たとき産業が無く、人口も減っていけば若い人も出て行ってしまう現状と思う。自分の町内も一軒家が減って高齢化が進んだ。これから稚内はいい都市になっていくのだろうか？…

◆市長の発言

(市長)

- ・稚内市も例外なく、世の中の流れとして人口減少、高齢化、少子化は防げないと思う。街の活気を保つためにもこれだけインフラ整備してきているが、当時5万人で想定した街が今3万7千人になり、どこまで耐えられるかというはある。
- ・中央商店街の状況もいろんな理由がある。駅周辺に人がいなくて商店街がいくら努力しても難しいと思っていたが、駅が整備されバスが止まるようになって、人の動きが変わってきた。
- ・人口の自然減は仕方ないが、一定の時期だけでも人を増やす努力は必要。その意味で一番早いのは観光と思う。その為に鉄道・道路の整備も大切。サハリン関係においても、難しい話もあるが、次の世代に少しでも財産を残せば将来もっと違う話も出てくるだろう。
- ・官庁（公務員）が多いこともこの街の経済を守る大切な要素。
- ・今一生懸命取り組んでいるのは再生可能エネルギー。先日、国が補助金を付けてくれたが、国全体から見ると一番風車の風況としてはいい場所。それはみんなわかっているが、送電網が細いので整備されれば風車が建ってもっと発電できる。国の人とも話をするが、そうなればガラッと変わる稚内になれるかもしれない。そういう意味で他地域の同規模の街より稚内は可能性がある。都知事をはじめ全国からエネルギーに関心を持っている人がたくさん来る。ただ展示しているだけではなく、現実的に経済に結びつかなければだめなので、何とか出来ると思って一生懸命やっている。風車においては賛否両論あるし簡単には進まないが、そんなところを切り口に進めたいと思っている。口で言うほど簡単ではないが変えようと思っている。うまく行ったら思いっきり変わる街だと思う。

5. 水産業の発展について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①経済を発展させることも街を発展させることだが、稚内は元々水産の街。水産を何とかするという考えはないか？
- ②養殖事業にもっと目を向けてはどうか？漁協や水産試験場などとタイアップして市も力を貸す考えはないか？

◆市長の発言

(市長)

- ①・魚が獲れることで街の景気に如実に表れてくる。ただ底曳で言えば200海里以降魚を取りに行く場所がなかなかない現実がある。
 - ・沿岸漁業はホタテなどヨーロッパへの輸出に向けた取組が行われていて、輸出基準をクリアできる生産から加工までを、一つの体系として確立すれば、条件よく買ってくれる。衛生的でなければ消費者に相手にされない社会に向かっている。宗谷のホタテなど、出来るだけ手をかけずにそういうものを作ろうとしており、うちの(市の)水産業もそういう時代に向かっている。かつての3Kみたいな話でなく、そういう競争に負けてしまう。水産業も大事な産業と思っているが、今はそういう方向に向かっている。
- ②・(養殖に関しては)他地域だが山の中でも養殖している時代。魚価の高いヒラメなどを養殖している例はあるので私たちも関心はあるし、しっかり取り組む。市が全部やるではなくそういう意欲のある人がいれば応援していきたい気持ちはある。

■ 検討状況など 【担当 … 建設産業部水産商工課】

- ・水産業については、ナマコの人工種苗の量産化に向けた中間育成の方向や、種苗の漁場放流に向けた技術全般の研究開発の補助を行っています。また、9月下旬には、底曳船の新造が竣工することになり、漁獲物の付加価値向上に対する支援や、卸売市場の衛生面についても検討しながら、今後においても、魚価の価格安定や漁業生産及び漁家経営の安定を図るために協力していきたいと考えています。

6. 救急医療の充実について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①自分が病気になった時、名寄の病院まで搬送された。稚内でもこれから医者が不足する時代も出てくるだろう。緊急事態にヘリが短時間で名寄や旭川にでも運べる体制づくりをもっと市に進めてほしい。

◆市長の発言

(市長)

- ・ドクターヘリを1市町村で維持することはすごい経費がかかる。ヘリは気象条件にも弱い。これと別に名寄までの道路を冬でも高速で走れるように繋いでくれと言う話はしている。サラキトマナイ防雪や音威子府バイパス含めかなり整備されてきた。予算面もあり国も右から左へとは行かないが、これが現実なんだと伝えながら、単に医者がどうかヘリがどうかと言う問題ではなくて、いろんな側面で命を守らなくてはならない。そんな風にいろんな取り組みを進めている。



7. 医師の確保について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①ドクターヘリも大事だが、先に市立病院の充実をお願いしたい。緊急の患者より今病気で困っている人がいる。そちらが先ではないか？先生方も休む日は必要だ。状況は十分わかるが・・・

(意見)

- ・街の医療がある程度充実していないとどうしても人がいなくなる。

◆市長の発言

(市長)

- ・どの病気でも市立病院に行ってしまうとお医者さんも疲れて稚内に行きたくないという話になってしまう。開業医も来ていただかなくてはならない。開業医は病院を作ったりしなくてはならないから(融資制度など)ここに来てくれるならとお手伝いしている。全国に周知しているが、稚内になんらかの縁などがないとなかなか来ていただけない現状。今後また深刻になる。お医者さんの話は大変だ。
- ・東京に行って(国などに)道路や医療の話を訴えても、北海道の実状がなかなか理解されない。稚内だけ田舎ではなく、全国にもたくさんあり予算の取り合いみたいな話になる。
- ・日本全体としては医者数は増えているが、ここは(稚内は)全道平均から言っても下。何とかしてくださいと要望している。札幌や旭川などは多いが、稚内含め根室や日高など離れている地域に特有の話になっている。



8. 地域防災について

◆参加者からの意見等

(質問)

- ①防災に関してまちづくり委員会中心に、以前一度会議があって、避難路や計画を相談しながら進めるとのことだったが、その後どうなったか？地域にもきちんと説明しなくてはならない。

◆市長の発言

(市長)

- 私たちも日頃防災を話題にすることが多い中、市の動きが見えず申し訳ない。みんなにどうしてほしいか含め情報提供しないといけないと思う。

■ 検討状況など 【担当 … 政策調整部市民協働課・総務部防災安全課】

- 以前まちづくり委員会において、各町内会ごとの防災時の避難経路などを記載した避難計画を議論していただくことのできる機会をいただきましたが、その後、議論していないことは事実です。今後は早急に市から地域へ情報提供を行い、一緒に計画の作成を進めてまいります。



<皆様にご参加いただき、活発な議論が交わされました。今後の市政運営の参考とさせていただきます。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。>